

平成21年度（第8期）事業計画書

（平成21年6月1日から平成22年5月31日まで）

特定非営利活動法人 東上まちづくりフォーラム

1. 事業実施の方針

定款に定める活動①～③についての今後の方針は、以下の通りである。

①地域資源の再発見と人材開発の場の提供

当NPO法人としての基幹事業と位置づけている「ビジネス助っ人隊」の更なる発展のために、今期は各助っ人隊やチームの活動に対して、事前の予算書提出を奨励し、提出のあった活動については、活動経費を本部予算で手当とする。

助っ人隊としては、「営業助っ人隊&コンサル助っ人隊」、「商工団体助っ人隊」、「経営研修助っ人隊」、「パソコン・IT助っ人隊」に対して、またチームとしては「地域力連携拠点埼玉西部チーム」と「団塊世代活動支援センターチーム」に対して予算措置を行う。

予算額は年間予算であるが、3ヶ月ごとに実績の評価を理事会を中心に実施し、状況に応じて増減を認め、年間収支が妥当なものとなるように調整を行う。

「営業助っ人隊&コンサル助っ人隊」では、顧客企業との接点づくりとなるマッチングセミナーや個別案件の発掘に関する予算をとる。

「商工団体助っ人隊」では、個別商工団体に対してのアプローチや中小企業家同友会との接点づくり等に予算措置を行う。

「経営研修助っ人隊」では、研修メニューお披露目セミナーや出前研修会に予算をとる。

「パソコン・IT助っ人隊」に対しては、営業訪問活動の経費補助を行う。

一方、「地域力連携拠点埼玉西部チーム」に対しては、川越商工会議所に対してのビジネス助っ人隊としての強みを明確化していくための活動（ex. 営業支援ができる組織であることのPR等）や個々の専門家登録人材と商工会議所スタッフ等とのコミュニケーションのための予算措置を行う。

「団塊世代活動支援センターチーム」に対しては、自前で行うマッチングセミナーに対しての補助を行う。

②まちづくり提案とプロジェクト活動

プロジェクトとしては、「障がい者IT支援プロジェクト」、「シニアプロジェクト」、「市民事業大学プロジェクト」、「志木市まち興しプロジェクト」に対して本部経費からの予算措置を行う。

「障がい者IT支援プロジェクト」については、障がい者との接点づくりに対して集中的な予算措置を行う。

「シニアプロジェクト」については、ソフトウェア（オフィス）の購入経費や講座開催に対しての支援を行う。

「市民事業大学プロジェクト」については、PRのための経費を中心とした支援を行う。

また、新規計画中のプロジェクトとして、「退職者のCB支援、地域活性化モデル事業」、「リハビリ患者のための立体パズルプロジェクト」がある。

③住民交流の場づくり

地域活動を行うために必要なインフラ（人的ネットワーク、活動場所）整備と活用事業を引き続き行っていく。具体的には懇親会としての実績がある「二水会」（「三火会」を改めて日程と時間帯を変更したもの）や「東上線NPOネット」の活動を継続して行う。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

① 地域資源の再発見と人材開発の場の提供（「ビジネス助っ人隊」事業）

ビジネス助っ人隊の登録メンバーは現在約110名であるが、これを今年度は200名を超える規模とすることを目標とする。助っ人隊への登録メンバーのなかで、正会員になっている数は現在50名以下であるが、これを100名程度とすることを目標とする。

基盤固めとして、組織としての、①事務局体制を固め、②実績を作り、③外部に対しての明確なアピールポイントを打ち出す。そのために前述したような予算措置も行う。

助っ人隊は、組織としての業務受託が原則であるが、組織として活動することの強みを見出し、地域活性化と中高年層の活性化を両立させるという意図が達せられるように鋭意工夫を重ねた活動を行っている。

② まちづくり提案とプロジェクト活動

新しく立ち上がったプロジェクトはもちろんのこと、今後も新しいプロジェクトが起きるように、広義のインキュベーション活動を行う。

③住民交流の場づくり

原則毎月1回の『二水会』を今年度も継続して開催する。

『東上線NPOネット』の世話人の役割を継続し、沿線型の横連携のネットワークを発展させていけるようにする。

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲および予定人数	支出見込み額 (千円)
地域資源の再発見と人材開発の場の提供 (「ビジネス助っ人隊」事業)	中高年層(企業退職者等)と地域企業・NPO法人等とのマッチング事業	通年	埼玉県全域	100人	地元企業やNPO法人(約500社)	35,700
まちづくり提案とプロジェクト活動	障がい者IT支援プロジェクト	通年	埼玉県全域(出張研修)	15人	障がい者個人、障がい者支援団体(約50団体)	570
	シニアドプロジェクト	通年	埼玉県全域(出張研修)	6人	志木ニュータウン、シニアクラブ、市町村のシニア対策課	400
	市民事業大学プロジェクト	通年	埼玉県全域	20人	埼玉県民800名	2,000
	その他計画中のプロジェクト	通年	埼玉県全域	15人	埼玉県民	3,800
住民交流の場づくり	東上線NPOネット(世話人)	通年	東上まちづくりフォーラム事務局オフィス、東武東上線沿線の公的施設等	1人	東部東上線沿線で地域活動を行っている団体・個人(約200名)	0
	二水会	毎月第2水曜日	東上まちづくりフォーラム事務局オフィス	2人	地域活動を行っている団体・個人(延200名)	0